

# AJ

AQUA JOURNAL  
Nature Aquarium  
information magazine  
Aug. 2023 100YEN  
vol.  
334

[巻頭グラビア]  
**NATURE  
IN THE GLASS**  
ライト・オブ・ワールズ

ADA PLANTS GALLERY #18  
「クリナム・アクアティカ・ナローリーフ」

IAPLC CREATOR'S FILE #07  
「Katsuki Tanaka / Japan」

CLOSE UP JUNGLE PLANTS #01 (新連載)  
LOVE ADA GOODS #13

ネイチャーコラム 第30回  
「短足だけど美脚な」

SPECIAL FEATURE

## AQUASKY RGB II 60



# NATURE IN THE GLASS

Daisuke Inoue W600×D300×H360

## DATA

撮影日	2022年9月21日(ADA)
制作	井上 大輔(レイアウト制作・文)
水槽	キューブガーデン W600×D300×H360(mm)
照明	アクアスカイRGB II 60 ×1基(1日8時間30分点灯)
ろ過	スーパージェットフィルターES-600(バイオリオ)
素材	スリムウッド、山谷石
底床	アクアソイル-アマゾニアVer.2、 パワーサンド・アドバンスS、 バクター100、クリアスパー、トルマリンBC
CO <sub>2</sub>	バレングラス、CO <sub>2</sub> グラスカウンターで1秒に2滴 (タワー使用)
AIR	リリィパイプP-2 130によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤	ブライティK、グリーンブライティ・ミネラル、 グリーンブライティ・アイアン、グリーンブライティ・ニトロ
換水	1週間に1度 1/2
水質	水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L
水草	グロッソスティグマ(BIO)*  <i>Glossostigma elatinoides</i> エキノドルス・テネリス フロードリーフ(BIO)* <i>Helanthium tenellum 'Broad Leaf'</i> エキノドルス・グリセバキー <i>Helanthium boliviianum 'Quadricostatus'</i> ミリオフィラム・マトグロッセンセ(BIO)* <i>Myriophyllum mattogrossense</i> グリーンロターラ(BIO)* <i>Rotala rotundifolia 'Green'</i> ニードルリーフルドウジア(BIO)* <i>Ludwigia arcuata</i> セイロンロターラ(BIO)* <i>Rotala rotundifolia 'Ceylon'</i> ロターラ・レディッシュ <i>Rotala rotundifolia 'Reddish'</i> ロターラ・スパイキー <i>Rotala sp. 'Spiky'</i> ロターラ・インレー <i>Rotala rotundifolia 'Inle'</i> ロターラ・インディカ カリカット <i>Rotala sp. 'Indica Calicut'</i> ロターラ・マクランドラ・グリーン(BIO)* <i>Rotala macrandra 'Green'</i> エキノドルス・アングスチフォリウス <i>Helanthium boliviianum 'Angustifolius'</i> ミクロソラム・トライテント(JP)* <i>Microsorum sp. 'Trident'</i> ウイローモス(モスバッケ)* <i>Taxiphyllum barbieri</i> 魚種 グリーンネオン <i>Paracheirodon simulans</i> ハイフェソブリコン・メタエ <i>Hypseobrycon metae</i> フェニックスステトラ <i>Hypseobrycon sp.</i> ゴールデンイツラミレジ <i>Microgeophagus ramirezi var.</i> サイアミーズフライングフォックス <i>Crossocheilus oblongus</i> オトシンクルス <i>Otocinclus sp.</i> ヤマトヌマエビ <i>Caridina multidentata</i>

\*はADA生体製品ラインナップです。



## [ライト・オブ・ワールズ]

この水景は「アクアスカイ RGB II 60」を使用した最初の作例として制作したもので、「親しみやすい凹型構図の明るい水景」を制作意図としている。W600mm水槽は、制作する機会が少ないせいか個人的には小さく感じられる。実際、奥行きが短く圧迫感が出やすいので、構図素材を控えめにして水草の植栽スペースを多めに確保した。水草は明るい印象の有茎草や下草をメインに、流木にモスを活着させることで水景を引き締めている。

## 新アクアスカイを 意識した水草と魚種

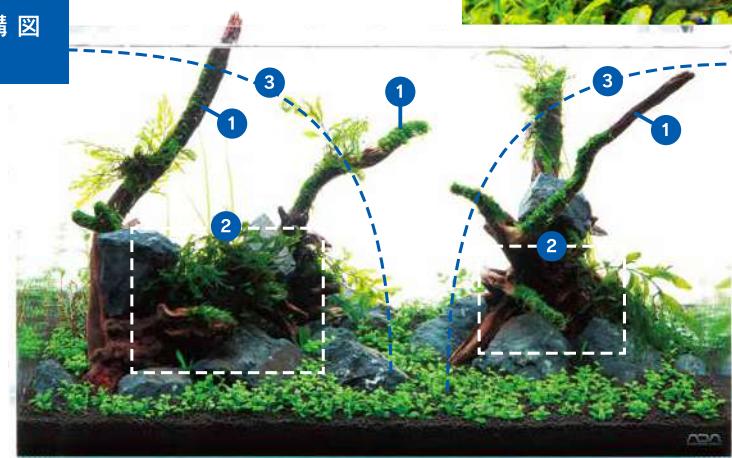
「アクアスカイ RGB II 60」最大の特長は、水景に応じて光色や光量を自在にコントロールできること。その効果がわかりやすいように、この水景ではカラフルな水草と魚種を意識的に選んでいる。最初は基本の「ネイチャーアクアリウム」の光を選び、そこから発色の好みによって微調節するのがオススメの使い方である。

### Point 1 スリムウッドを組んだ構図骨格

スリムウッドは単体で置いて形になるというよりも、複数を組んで形をつくることに向いている。左右に数本組んで凹型構図の骨格をつくり、中央に空間を開けることで明るい印象になるようにした。



構図



### Point 2 明るい印象をつくる 中景の植栽

エキノドルス・グリセバキーを流木の根元に植栽。暗くなりやすい箇所だが、ライトグリーンであるため明るい印象に。似た葉色のミクロソラム・トライアントも比較的暗くなりやすい箇所に配置した(当初のボルビティスから変更)。

2022年6月24日 撮影



©AQUA DESIGN AMANO



### Point 3 有茎草の特性を生かした 背景の植栽

匍匐性が強く、トリミングに強い有茎草を茂みの手前や中央に植栽し、上に伸びやすい有茎草を茂みの後方に植栽している。さらに、隣り合った種類で葉の色や形が被らないようにすることで、有茎草一つひとつが目立つようにした。

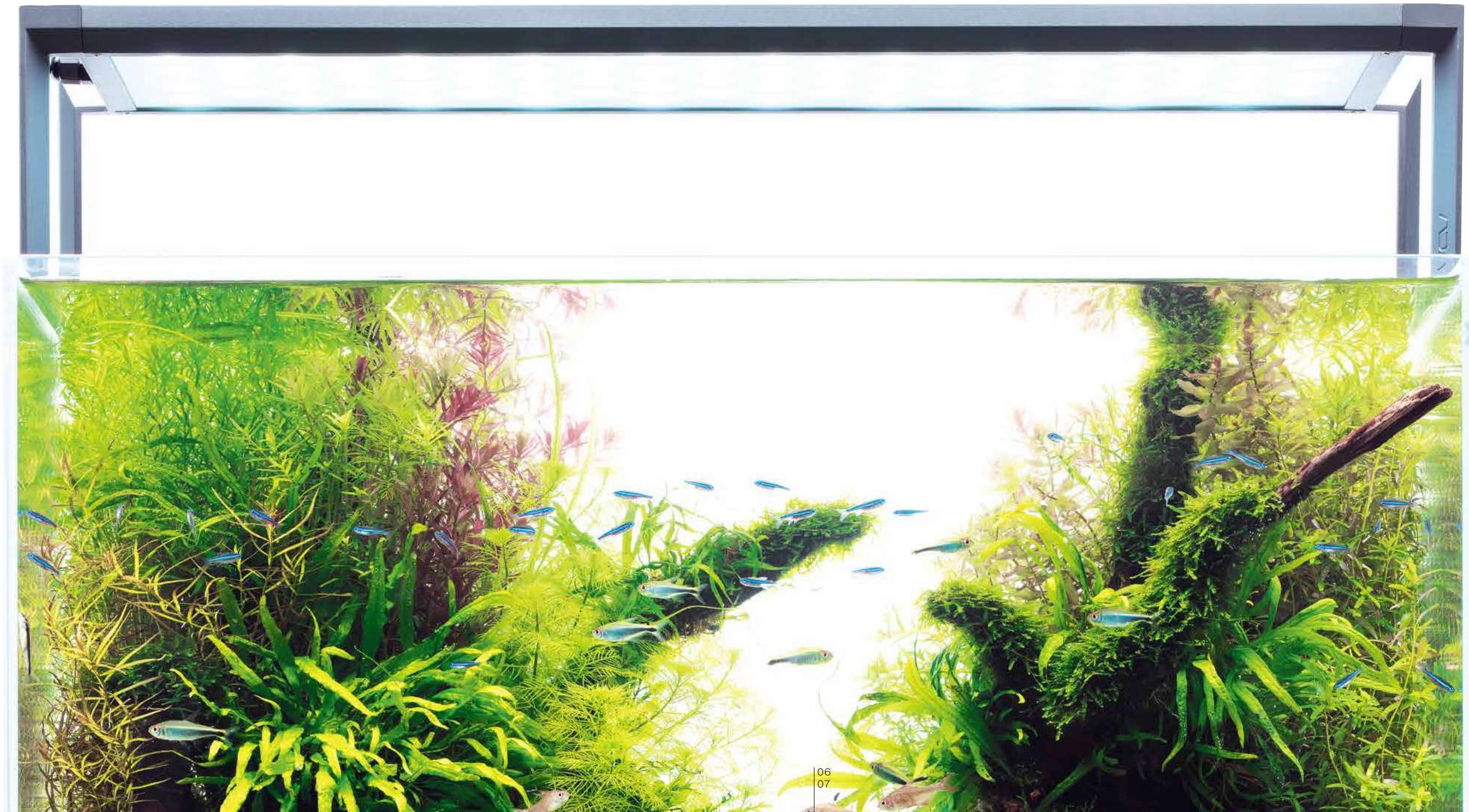
ADAが手掛けるスマート製品が本格始動

SPECIAL FEATURE  
ADA NEW LIGHTING SYSTEM

# AQUASKY RGB II 60

## 洗練と進化の光

2016年、ADAは新世代のライティングシステムとしてRGB LED球を採用した製品をいち早く開発。そのフラッグシップモデルとして世に送り出した「ソーラーRGB」を皮切りに、革新的な光によって水草だけでなく陸上植物も栽培できる各種ライティングシステムを提供してきた。そして、この夏、新たに登場する「アクアスカイ RGB II 60」は、光色や光量のコントロールも可能となり、これまでのライティングシステムとは異なった仕様となっている。ADAオリジナルアプリケーションによる操作でネイチャーアクアリウムに最適な光の他、パルダリウムや陸上植物の栽培に適した光に変更することもできる。本特集では、可能性に満ちたその性能や開発へのこだわりを紹介しよう。



## 01

### 放熱性を重視した深さのあるフィン

ボディ上部に深さがある放熱フィンを施し、表面積が大きいことで従来品に比べより空気に触れやすく放熱性が格段に向上了しました。これにより長時間の点灯や高光量時の発熱にも対応できる安全性を確保しています。なおボディ側面までフィンが突き抜けているため中に入ったごみも専用付属品の放熱フィンクリーニングブラシで簡単に取り除くことができる機能的な構造となっています。



切り込みの深くなったフィンが効率的に放熱します。

## 02

### ADAオリジナルのボディカラー

新製品のボディカラーは既存ADAラインナップにはないミネラルグレーを採用しました。従来のアクアリウム照明はシルバーやブラックといったカラーリングが多数でした。本カラーリングのボディは光に照らされると周辺器具と調和し、水槽の上部で影の中から浮かび上がるよう見え特別感を与えてくれます。ガラスケースとの一体感が所有欲を満たしてくれることでしょう。



ADAロゴが馴染む、落ち着きのあるカラーリング。

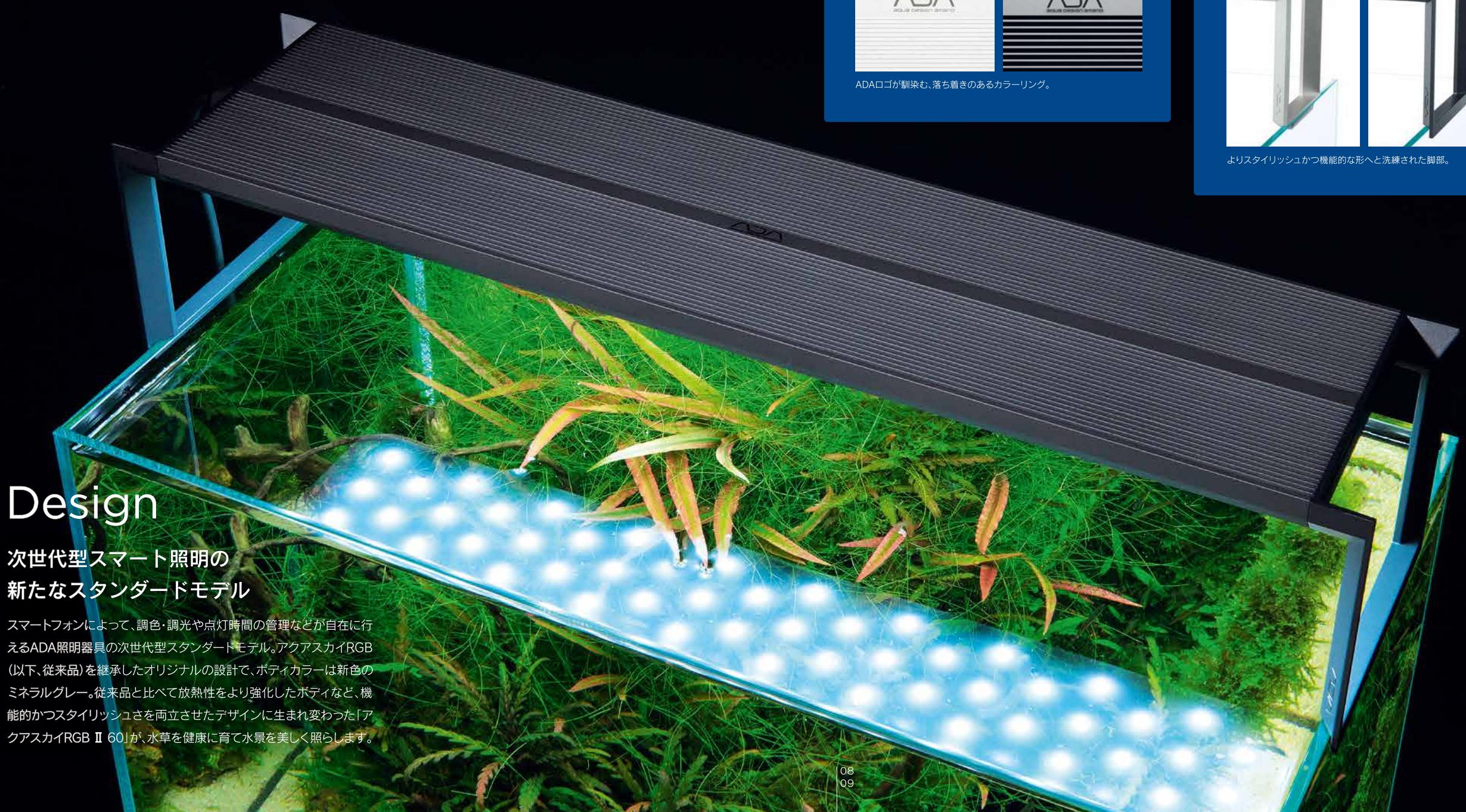
## 03

### 機能的かつ美しさを求めた脚部

基本的なデザイン性は従来品を受け継ぎつつも、ボディ側面や脚部は内側に向かって面取り処理を施すことでさらに薄く見えるようなデザインへとブラッシュアップされています。また、脚部はガラスケースの外側にかかる形へと変更されているため、ケースのガラス厚に関係なく設置が可能となりました。機能性と美しさを両立しADAのフルシステムに溶け込むようにデザインされています。



よりスタイリッシュかつ機能的な形へと洗練された脚部。



## Design

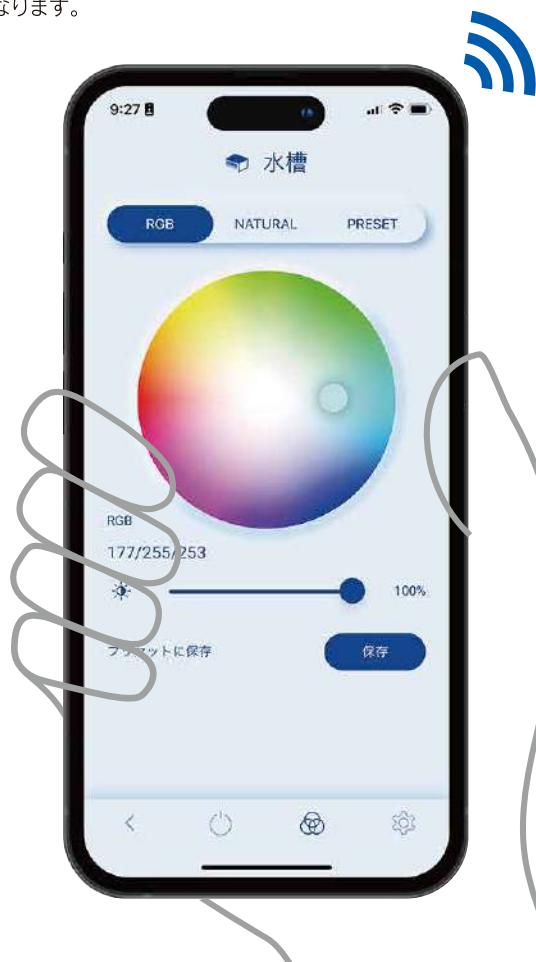
### 次世代型スマート照明の 新たなスタンダードモデル

スマートフォンによって、調色・調光や点灯時間の管理などが自在に行えるADA照明器具の次世代型スタンダードモデル。アクアスカイRGB(以下、従来品)を継承したオリジナルの設計で、ボディカラーは新色のミネラルグレー。従来品と比べて放熱性をより強化したボディなど、機能的かつスタイリッシュさを両立させたデザインに生まれ変わった「アクアスカイRGB II 60」が、水草を健康に育て水景を美しく照らします。

# Application

## ADA CONTROLLER で スマートフォンから簡単操作

Bluetooth接続に対応したADAオリジナルのアプリケーション「ADA CONTROLLER」を使用して、スマートフォンから対応する照明システムを操作することができます。直感的でシンプルな操作画面で、照明のON-OFFやタイマー設定、明るさや光色の調整が可能です。また、ソフトライティングモードをONにすることで緩やかな点灯および消灯が可能になります。



ADA CONTROLLERのダウンロードは[こちら](#)



Download on the App Store

GET IN ON Google Play



今後さらにラインナップの広がるスマート機能対応製品のロゴマークです。「アクアスカイRGB II 60」はその第一弾となります。



ADAのスマート機能対応の製品には、接続の手軽さや操作が反映されるまでのタイムラグの小ささなどからBluetooth接続を採用しています。



ADA  
CONTROLLER

新開発のBluetooth対応ADAオリジナルアプリケーションで、直感的な操作がおこなえるようなシンプルな機能とデザインになっています。



### デモモードについて

製品を購入していないユーザーの方にもADA CONTROLLERを体感していただけるデモモードを搭載しています。デモモードを活用することで製品購入後もスムーズに接続や操作をしていただけます。RGBカラーピッカーの操作感をぜひご体感ください。

## 01 POWER SETTING

### タイマー機能を搭載

アプリ設定で照明のON-OFFをコントロールできます。タイマー設定と手動設定を搭載しており、画面上部のタブでモードの切り替えが簡単に行えます。TIMERかMANUALのどちらかのモードを選び、設定した状態でアプリケーションを閉じることでその設定が保存されます。

#### TIMER MODE

視覚的にわかりやすい設定画面で、照明の点灯・消灯時間をセットすることができます。一日の点灯時間が時計をイメージした画面中央に表示されます。

#### MANUAL MODE

POWERボタンで照明の点灯・消灯の切り替えをおこないます。ボタン下部のスライダーを左右に動かすことで、10~100%の間でお好みの明るさに調整できます。



TIMER MODE

MANUAL MODE

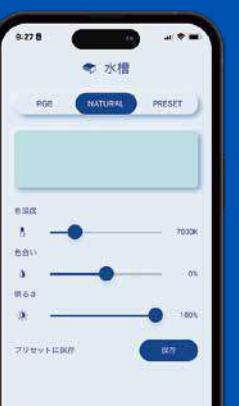
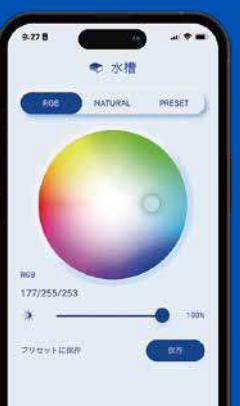
## 02 COLOR SETTING

### 好みの調色と調光が可能に

RGB-LED球の特性を活かし、さまざまな調色と調光が可能になりました。3つのモードの中から調色・調光方法を選択し、自分だけの光にカスタマイズして育成を楽しんでいただけます。また、カスタマイズした光はプリセット登録もできます。

#### RGB MODE

RGBカラーピッカーを操作してお好きな色を選択します。Red, Green, Blueのそれぞれの光の強さが数値で表示されるため、別の照明でも正確に色を再現することができます。



RGB MODE

NATURAL MODE

色温度や色合いの視点での調色と調光をおこないます。選んだ色は画面上部で表示され、即時確認ができます。ここからもプリセット登録が可能です。

#### NATURAL MODE

PRESET MODEは次ページで解説しています。

## 03 DEVICE SETTING

### ON-OFF を緩やかに

照明の点灯・消灯をゆっくりとおこなうことができるソフトライティングモードを搭載しています。また、登録した機器のデバイス名を設定できるため、複数台を登録してもどの機器を操作しているのかが一目でわかるようになっています。



DEVICE SETTING

#### SOFT LIGHTING

点灯と消灯にかかる時間を15~60秒の間で設定が可能。緩やかな点灯・消灯は魚を驚かすことを軽減し水槽からの飛び出しを予防します。

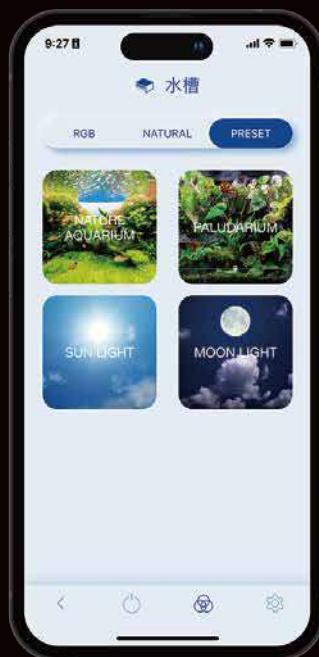


こちらのQRコードから、ADA CONTROLLERの使用方法を動画でご覧いただけます。

# Lighting

ADAオリジナルの光で  
ケース栽培を楽しむ

プリセットモードではさまざまなシーンに適したADAオリジナルの光を簡単に選択できます。4パターンのプリセットを初期段階で登録しており、COLOR SETTING内で調色・調光した自分だけの設定も保存できます。保存したプリセットはいつでも呼び出しが可能です。



ADA 推奨プリセット

NATURE AQUARIUM

PALUDARIUM

SUN LIGHT

MOON LIGHT

AQUATIC PLANTS



JUNGLE PLANTS



PRESET MODE

## NATURE AQUARIUM

水草の発色や育成、水の透明度の表現に最適な光。  
初期状態で設置したときに水面で約20,000luxとなるように設定されています。

## PALUDARIUM

熱帯植物が美しく映える光です。パルダライト60を設置した光と同程度の光量をガラスケース内に照射する設定となっています。

## SUN LIGHT

太陽光をイメージした育成のための光で、強い光や直射日光を好むタイプの陸生植物の育成や観賞に向いています。

## MOON LIGHT

夜間のムードの演出に適した、月光をイメージした観賞のための光。星空の下でひっそりと暮らす植物を青白く照らします。

SUCCULENT PLANTS



# Interview

## 新しい光に込められた ADAらしさとは

ADA生産開発部の小川がインタビューとなり、「AQUASKY RGB II 60」の開発の指揮を執った大岩(ADA専務取締役)にその開発背景などを聞きました。

※本製品:AQUASKY RGB II 60

従来品:AQUASKY RGB 60

**小川** ここまで誌面で本製品について紹介してきましたが、まずは開発にあたっての初期構想などを聞かせてください。

**大岩** 従来品は2019年12月に発売し、その翌年からスマート化も視野に入れた製品仕様の企画を立ち上げて本製品開発に着手をしてきました。光を操作端末で操る気持ちよさが実感できると思います。

**小川** 2020年からの開発プロジェクトなんですね。当初からスマート製品として企画されたのはなぜでしょうか。

**大岩** スマート家電が身近なっていますし、アクアリウム業界でもアプリケーションを使用した各種水槽関連機器の操作が実用化され始めていたこともあって本製品にも実装する方向としました。

**小川** スマート製品ということでアプリを通じて操作が可能な仕様ですが、アプリ開発

についても聞かせてください。

**大岩** アプリのデザインにもADAクオリティを惜しみなく注入しました。また利便性を大切にするために反応性の高いアプリを目指し、さらに直感的に使えるような仕様で開発をすすめました。光を操作端末で操る気持ちよさが実感できると思います。

**小川** 特におすすめの機能はどういったものがありますでしょうか。

**大岩** カラーピッカーによってリアルタイムで光色変化が可能な点です。ADAオリジナルプリセットと本機能が連動しているため微調整して好みの光色での観賞や植物栽培の光源としても楽しめます。ADAでは水槽クリエイターやスタッフがさまざまな光量と光色で栽培を行っています。ぜひユーザーのみなさまにも照明をコントロールする楽しさも

感じていただきたいと思います。

**小川** プリセットで各光色が点灯できますし、光量もスライダーで操作できる点やカラーピッカーで調光できるところは説明がなくとも使用できそうなくらいシンプルでわかりやすいですね。

**大岩** そうですね。シンプルさというのは操作性もそうですが、搭載した機能についても

同様です。アクアリストが本当に必要な機能だけを採用しました。タイマー機能や最長60秒のソフトスタート機能といった拡張に留めていて、複雑な機能はあえて排除しました。

**小川** 機能が精選されていることもありますのでスムーズな操作性が実現されているアプリなんですね。

**大岩** アプリ開発とプロダクト開発が同時に進行となっていたわけですが、期間としては

2年以上を経ての発売となりました。新型コロナウィルスによるパンデミックを受けての経済、産業の停滞も背景に開発速度が鈍ってしまった時期もありました。また、RGB LEDの端子調達にあたってもADAが求める品質の材料が安定して入手ができなく何度も苦労を重ねました。

**小川** ちょうどそういう世界情勢による影響が強く生じる時期でしたね。調光できる点が従来品との違いになりますが、どういった仕様になったのでしょうか?

**大岩** 従来品との大きな違いとして最大光量とそれを実現するための電力になります。ネイチャーアクアリウムだけでなくパルダリウム、より高光量での栽培が好ましい陸上植物など多くのシチュエーションでの植物栽培のための光を用意しました。従来品よりも1.5倍以上最大光量が高いことで発熱を逃がすための放熱構造が課題となりました。

**小川** それが新たな構造となった放熱フィンとなるんですね。

**大岩** そうです。この構造は本製品の顔となるデザインであるとともに放熱性をさらに高めた機能性デザインともなっています。

**小川** 基盤のLED端子の配列は従来品を踏襲しているとのことでしたが、基板や電気的な部分で開発にあたっての工夫やこだわりについて教えてください。

**大岩** LED照明を発光させる際には電流をどのように流すのか、その制御機能を設ける必要があります。調光できるLED照明の多くはPWM制御方式となっているところ、

ADAでは電流制御方式を採用しました。  
**小川** その電流制御方式にするとどういったメリットがあるのでしょうか。

**大岩** 人の目での観賞や植物栽培に必要となる光源としては差が大きないとされますが、最も大きな相違点は撮影時に生じます。最終的に水景や植物を写真や動画に収めるときに光源の点滅や干渉縞などが見られなくなります。

**小川** 今はSNSでの発信などもアクアリウムの楽しみの一つになっているので、そこまで考えられているんですね。

**大岩** そうです。植物の栽培と水槽の観賞はもちろん、撮影まで含めての使用感を考慮して制御系を決定しました。ちょっとしたこだわりではありますが、植物を育て楽しむホビーを提案しているADAらしさが出ている仕様ではないかな、と思います。

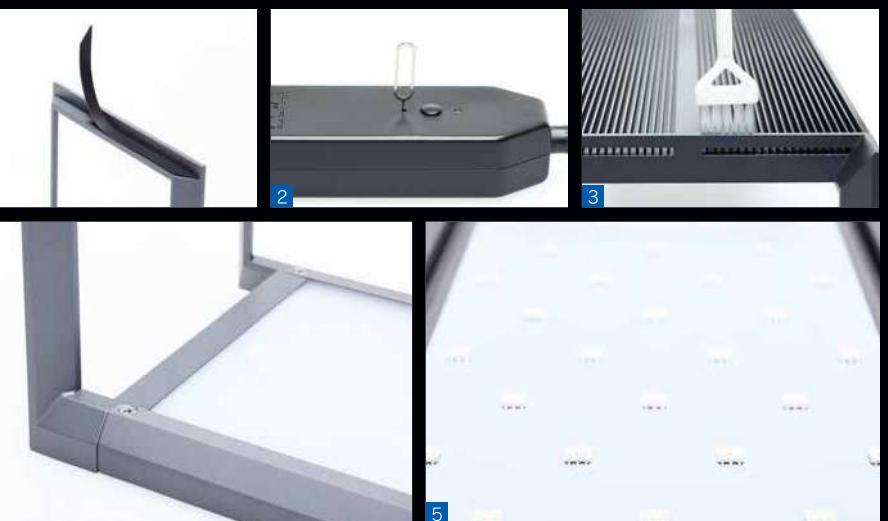
**小川** デザインも機能も納得の仕様で、開発背景にもADAらしさがある最新照明製品ということですね。

**大岩** それは単なるIoT化や高機能化ではなくて、購入時から使用時に至るすべてのシーンにおいて心地良さ、ADAらしさを感じられる製品です。そこには些細なことですが、製品パッケージの開封時の期待感なども含んでいます。今後、育成器具のIoT化はどこまで求めらるのか考えるところはありますが、育成データを数値化でき、より安定した育成環境を提供できる点では大きなメリットとなるため、これからもメーカーとして開発に取り組んでいきたいと思っています。



### こだわりピックアップ

①落下のリスクを低下させる専用すべり止めシール ②プログラムなど設定を出荷時状態に戻すためのリセットピン ③フィンの溝に入ったごみなどを掃除できる専用放熱フィンクリーニングブラシ ④観賞面から見えない位置で照明ユニットのパーツを接合 ⑤従来品の配列を踏襲した照明基盤



## ADA PLANTS GALLERY

*Crinum calamistratum*

クリナム・アクアティカ・ナローリーフ

Text\_Kota Iwahori

多様な生体製品を開発している  
ADAの生産開発部(通称「グリーンラボ」)。  
このコーナーではラボで扱う植物の豆知識や  
時折見てくれる素顔の一部をご紹介します。

## 珍奇な球根水草

園芸市場ではケープバルブと呼ばれるモードな植物ジャンルがあり、それらは珍奇な葉姿や経年により形成される迫力の球根が人気の理由です。カメルーン西部のクンバ付近に自生するとされるクリナム・アクアティカ・ナローリーフは、ヒガンバナ科の水生植物でケープバルブにも通ずる魅力があります。種小名の「calamistratum」は「縮れている」といった意味のようで、強めのスパイラルパーマをかけたような珍妙な葉姿が特徴です。



葉の細かいねりは新葉から展開しており生長とともに伸びることなく固く成熟していく。

## 究極の一株をつくる

球根植物には休眠期がつきものですが、本種の水中育成では休眠せずに長く楽しむことができます。広いスペースを要しますが、緩やかな水流で育成した株は無造作にカールしながら葉を四方に伸ばし美しい株姿になります。長期育成すると花を咲かせることがあり、近い仲間であるアマリリスと同様に、株の中心とは別に球根の上部から花柄を伸ばします。このことから開花には球根の充実が重要であることがわかります。



## 容易なケース栽培

クリナム・アクアティカ・ナローリーフは、水流を好むもののネオグラスエアでの止水環境でも育成可能です。底床はパワーサンド・ベーシック S とトロピカルリバーソイルの組み合わせが良いでしょう。週に一度の換水時に水景リキッドとECAプラスを添加します。新葉の色が薄くなったり生長が著しく遅くなったりしたときはボトムプラスで対処しましょう。藻類対策や水の流動のことを考慮してヤマトヌマエビやカラーシュリンプなどの導入するのも良いでしょう。



白く美しい花は  
一見の価値あり。

## アフリカの水草や魚と

個性的なクリナム・アクアティカ・ナローリーフは背景でたなびいているだけでも熱帯地方の清流のような印象が生まれます。水流を好むため密生度を高く維持する有茎草との組み合わせは不向きで、ボルビテス・ヒュディロッティやアヌビアスの仲間、アフリカのカラシンなどと組み合わせたシンプルな構成が似合うでしょう。底床の養分が豊富であれば太い根を展開して生長がスムーズになり葉数が増えるようになります。



左右80cmほどに葉を広げた  
大株。ギリシャ神話の怪物の  
メデューサを彷彿とさせる。

# IAPLC CREATOR'S FILE #07

Katsuki Tanaka

**水草レイアウトにおいて  
最大の魅力は  
「水の中に生きた絵を描く」こと**



PROFILE

**タナカカツキ**

Katsuki Tanaka

年齢 / 56歳  
国名 / 日本  
職業 / マンガ家  
アクアリウム歴 / 12年  
過去の受賞歴 /  
IAPLC2012 22位  
IAPLC2013 16位  
IAPLC2014 13位  
IAPLC2015 8位  
IAPLC2016 4位  
IAPLC2017 14位  
IAPLC2020 19位  
IAPLC2021 17位  
IAPLC2022 21位



長年愛用してきたツール。  
レイアウトには欠かせない。



「水の中に生きた絵を描く」上では、水草は  
絵の具にあたるのかもしれない。

世界トップレベルの水草レイアウトコンテストである「IAPLC」。このクリエイターズファイルでは、その上位入賞者にインタビューを行い、上達の秘訣や水草レイアウトに対するこだわりを紹介いたします。

タナカカツキさんの  
SNSアカウント



**グリーンバレー** Aquarium Size W1200×D500×H500(mm)

水 草:ロターラ・ワヤード/ニードルリーフルドウイジア/ルドウイジア・レベンス・スーパーレッド/ルドウイジア・レベンス/オレンジミリオフィラム/レッドミリオフィラム/グリーンミリオフィラム/パールグラス/

ニューラージパールグラス/アヌビアス・ナナ・ブチ/ブセファランドラsp./ミクロソラム・トライアント/ヘアグラス/オーストラリアンドワーフヒドロコティレ  
魚 種:オレンジグリッターダニオ/ヤマトヌマエビ/オトシンネグロ

傾向からテーマをいただき制作しています。

**Q レイアウトをする上でこだわりのグッズはありますか?**

ネットで調べ物をしていたら、天野 尚先生の美しいネイチャーアクアリウムの画像に遭遇したのがきっかけです。一撃で心を掴まれました。

**Q 水草レイアウトのどのようなところに魅力を感じますか?**

たくさん魅力がありますが、自然素材を使用し「水の中に生きた絵を描く」というところに最大の魅力を感じます。

**Q レイアウトのテーマやモチーフ、アイデアはどこから得ますか?**

現在はコンテストに向けたコンテストのための作品づくりをしております。ですので、どんな作品が評価を受けるのか、その年ごとの

傾向からテーマをいただき制作しています。

**Q レイアウトを制作していく過程で、苦労した点や工夫した点はありますか?**

レイアウト制作はとても時間がかかります。その時間をいかに捻出するかに苦労します。毎日同じ時間に水槽の前に立ちルーティン化することで乗り切っています。

**Q 水草や魚種の選定する上のポイントについて教えてください。**

私の住む地域の水質に相性の良い水草や魚をチョイスしております。

**Q ご自身の中で、レイアウト制作でいつも心がけていることがありますか?**

「見たことないものをつくりて驚かせたい!」という気持ちで制作しております。

**Q IAPLCに応募するきっかけ、また、醍醐味はどんなところにあると思いますか?**

国と地域を越えて世界と競い合い、感性を共にできる素晴らしいコンテストだと思っていました。

**Q コンテスト入賞の秘訣はありますか?**

秘訣はあると思います。作品は植物の生長を待たねばなりません。創作者の一矢潰けでは決してできないのがこの生きた絵画の特徴だと思います。まずは、早めに制作に

とりかかり、素材集めも含めた「下準備」がいかに滞りなくできるかが重要です。さらに仲間と共に「意見を交換し合える環境をつくること」によって順位が押し上がると思います。

**Q アクアリウムクラブに所属している場合は、その活動内容をお聞かせください。**

「クリエイティブアクアスケイプジャパン」(CAJ)に所属しております。お互いの作品を頻繁に見せ合い批評し最良の改善策を話し合います。

**Q SNSでIAPLCに関するどのような投稿をしていますか?**

SNSではないですが、「京都精華大学水槽学部の水草ブログ」というブログを10年以上続けており、水草水槽の話題、日々の活動、

レイアウトテクニックなど発信しています。

**Q 世界中の水草愛好家の皆さんにメッセージをお願いします。**

いつかまたADAの本拠地、新潟でお会いでいるといいですね。そしてみなさんと水草水槽の魅力を思う存分語り合いたいです。



風景からインスピレーションを受けることもレイアウト制作の大変な工程の一つ。



意見を交換し合える仲間たちとの一枚。



IAPLC2022出品作品の構図制作の様子。

# Closeup Jungle Plants

#01

Text: Yasufumi Shibata



## ジャングルへ思いを馳せて楽しみたい植物たち

熱帯ジャングルの水辺には水草はもとより多湿な環境を好む多様な植物が自生しています。森林内に広がる自然は多様性に富み、それぞれの環境に適応するかのように進化した植物たちが息づいています。ADAではこのような植物群からアクアリウムやテラリウム、パレダリウムといったケース栽培で楽しめる生体製品をジャングルプランツ・シリーズとして生産しています。ジャングルプランツ・シリーズは水陸両生または陸上栽培専用の植物があり、製品の

タグラベルのカラーリングをグリーン(陸上栽培のみ)とホワイト(水陸両生)に分けることで区別しているので選ぶ時の参考としてみてください。製品形態はLCカップ、組織培養カップ、小型着生ランポットの3パターンとなっています。この度スタートした「Close-up Jungle Plants」では、ジャングルプランツ・シリーズのラインナップの中から毎回一種に焦点をあて、その特徴や生態を作例とともにご紹介していきます。

### Closeup Point



① LCカップは植物の種類によって異なるスポンジ素材を使用した根張り済みの株で生産をしています。



② ベゴニアとソネリラはカップ上部に通気孔を設け、順化に適した湿度が維持しやすくなっています。



③ 小型着生ランは株分けなどの難しい作業が不要な、手軽に扱いやすいサイズ感で生産しています。

水草などの葉やランの花といった植物の持つ特徴的な姿をガラスケース栽培で楽しむことのできる生体製品「ジャングルプランツ・シリーズ」。植物好きなライターが製品ラインナップの中から毎号1種にクローズアップしてその生態を掘り下げてご紹介します。

# LADA GOODS

ラヴ・ADA・グッズ

#13

## NA THERMOMETER J

NA・DOOA・生体製品のさまざまなラインナップを展開するADA。ここでは各ジャンルの枠を超えてライターの好きなGOODSを紹介します。

## 見るけど見えないもの

水草を栽培する、熱帯魚を飼育する、いずれの場合も水温は常に管理が必要です。毎日確認が必要な水質項目ですよね。この製品で最も好きなところはキズゴムレスでオールガラス製であることです(次点は感温液が青いところです)。ガラスを曲げてつくられているため水槽のガラス厚ごとにラインナップがあり、温度計とはいえ曲げ幅や長さが専用設計となっています。個人の思い出としては、この魅力に惹き込まれて店頭で初めて出会ったときに思わず即購入した一品として鮮明に記憶しています。ブルーの感温液で水景に溶け込みやすく、でも白バックなので温度確認もしやすい点が特にお気に入りです。ときには水景をぼんやりと眺めて、日々の癒しとしているときには目に留まらないくらいの存在ともなってくれ、必要不可欠な水温確認と毎日の観賞を両立できるスタイルに惚れ込んでいます。アクアリウムに必要である水温計を水景の観賞を妨げない設計かつスタイリッシュなデザインで確立、しかしながら控えめな存在としてもつくられているNAサーモメーターJが私は好きです。

Text:Ryuji Ogawa

# ネイチャーコラム

NATURE COLUMN

季節ごとのコラムを発信していきます。



古来とても有名な生き物で、その美しさや行動などから古くは古事記から、和歌や掛軸にも頻出していますし、誰もが知る日本昔話の桃太郎という物語にも登場するほど超メジャー野鳥です。日本固有種であり、さらにオス成鳥個体の見方が絢爛華美であつたり有名であるのもさることながら、その生態からも国鳥の指定を受けている経緯があります。オスは繁殖のためのトリマーを守るべく勇猛果敢に競合他者と戦い、メスは母性にあふれたり前後のヒナたちを単独で子育てる点などの習性も国鳥に能うということが言われたそうです（なお昨日の日本人の育児情勢からは乖離しているかもしれません）。紹介したい内容がありすぎるため今回は脚にしばつて書いていこうと思います。

ある日、田んぼ道をバイクでのんびりと走行していた際に並走されたことがあり驚きと喜びで感激の声が出ました。未舗装の悪路だったのでハンドリングに気を配りながら横目でキジを捉えつつ速度を確認すると、

時速25kmほどでした。さながら獣脚類を思わせる頑丈な風貌をした脚からも想像できるよう、極めて脚力が強いのです。一方、飛ぶのは苦手そうな体型に見えるように、体を大空へ浮かせるような、また一度に長距離の渡り飛翔を続けるような飛び方は見たことがありません。懸命に助走をつけたので、一度に飛び方を見たことがあります。一部研究者からも鳥類は恐竜であるとも言われるように、キジやヒクイドリ、エミュー、ダチョウといった走り自慢の野鳥たちは特に恐竜っぽさが感じられるので、その力強さに魅力されます。ちなみに、キジの仲間は現在の日本鳥類分類上でも最も古いグループとして目録などで掲載順がトップとなっています。その脚力で逃げられてしまうことはよくあります。なぜか、ゼビキジを観察しに耕作地や河川敷など開けた環境のあるネイチャーへでかけてみてはいかがでしょうか。

## 「短足だけど美脚な」

第30回

文・写真／小川 龍司

### INFORMATION

世界の仲間たちと、ランキング発表を楽しもう！

## IAPLC 2023

## Premiere on YouTube

2023.08.26 SAT 20:00-

TOP100ランキング発表、世界同時配信！

<https://www.iaplc.com>

今年は応募数1,850作品、参加国・地域は78となり、皆様、たくさんのご応募ありがとうございました。世界トップレベルの水景の中から決定するグランプリは誰の手に。そしてその作品とは？ 結果発表は、YouTubeのADA公式チャンネルにてランキングと作品発表の世界同時配信となります。ご期待ください。

## AOAO SAPPORO

2023年7月20日(木)にグランドオープン！

ADA × AOAO

本誌でも制作の様子を紹介しております、ネイチャーアクアリウムの展示導入が行われた札幌の都市型水族館「AOAO SAPPORO」のオープン日程が決定いたしました。ADA水景クリエイターが制作した渾身のレイアウトを是非、その目でご覧ください。皆様のご来館をお待ちしております！

AOAO SAPPORO (アオアオ サッポロ)

住所：北海道札幌市中央区南2条西3丁目20番地 moyuk SAPPORO 4階～6階  
アクセス：札幌市営地下鉄南北線・東西線・東豊線「大通」駅徒歩3分、札幌市電「狸小路」駅徒歩5分

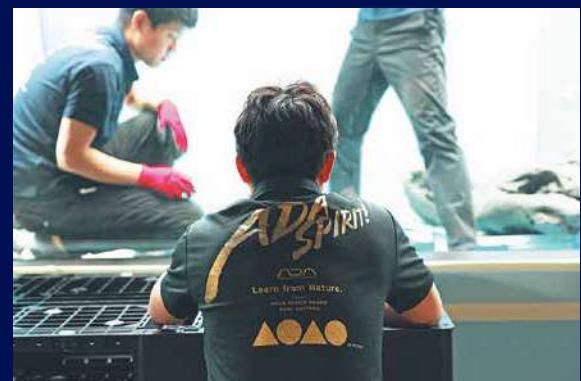
営業時間：10:00～22:00(最終入場 21:00)

料金：大人 ¥2,000～ / 子ども ¥1,000～ / 幼児 ¥200

公式サイト：<https://aoao-sapporo.blue>

※オープン当日の営業時間は12:00～22:00(最終入館 21:00)となります。

※料金は来館日ごとに異なります。(詳しくは公式サイトをご確認ください)



※館内イメージ

### STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.  
©2023 Printed in JAPAN

Publisher

天野 しひの

Art Direction

NATURE AD DESIGN

Design

丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢

Editor

杉本 俊輔／岩堀 康太／柴田 康文／小川 龍司

總監修・大岩 剛／写真監修・阿部 正敏

Published by  
株式会社 アクアデザインアマノ  
<https://www.adana.co.jp>

Printed by  
株式会社山田写真製版所

NEXT AQUA JOURNAL

September 2023 vol.335 / 2023年8月10日(木)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。

ADA NEW LIGHTING SYSTEM

# A Q U A S K Y   R G B II 60

*coming soon*



**ADA**  
aqua design amano